

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「人間関係の育成・学力の向上を目指す学校」「生命・安全、人権を大切にする学校」「使命感をもつ教員がいる学校」「地域社会のネットワークを生かす学校」を指針とする、桜岡小チーム力を伸ばします。</p> <p>○子ども一人ひとりが共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができるよう、人間関係を育みながら、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、基礎学力をしっかり身に付けさせるようにします。</p> <p>○子ども一人ひとり人に、善いもの・美しいもの・尊いものに憧れる豊かな情操と、人権意識を育み、自分の生き方を見つめる力を育てます。</p> <p>○教職員のチーム力を向上させ、学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組み、地域に根ざした安心・安全な学校づくりを推進します。</p>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>① 道徳科の指導を中心に、道徳的な判断力、心情等を育てる。全学級の道徳授業公開を年1回以上行う。</p> <p>② 人権尊重を基盤とする学級づくりを行うため、人権週間で人権の視点を意識した授業づくりや各クラス標語作りに取り組む。</p>
担当	人権福祉委員会

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

令和元年度の横浜市学力・学習調査の結果を見ると、「自分にはよいところがありますか」の項目は市平均より上回っていた。また「ものごとをやりとげてうれしかったことはありますか」「人の気持ちを考えて行動していますか。」では、市平均より上回っていたものの、昨年度よりもやや下回っていた。さらに自尊感情や自己肯定感を高めていく取り組みが必要である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・全学級の「特別の教科 道徳」の授業を家庭・地域に公開し、公開後の学級懇談会等を参考に「道徳科」の指導に生かす。
- ・学校の生活目標と各学級の道徳科の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。

豊かな体験活動の充実

- ・体験を通して、他者との関わりや自己を見つめ、集団や社会の一員であることを実感しながら自尊感情を高めるよう、優れた音楽や美術に触れよい体験や経験をする。
- ・「児童会活動」「クラブ活動」「なかよし活動」などの「異学年交流」を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。
- ・「横浜市キャリア教育推進プログラム」や出前授業を活用し、体験や講話などを通して自分の役割や働くことの意義について基盤を形成する。

確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを行うために、授業をはじめとした「学習活動づくり」や「人間関係づくり」を推進する。
- ・各学年、人権福祉体験学習を行い、子ども達同士だけではなく、いろいろな立場の人と関わる事で人権意識を高めていく。